

1. スタイリング I : 難波 由美子
2. ヘアメイク : 星野 尚之
3. カラー : 杉本 祐子
4. ファッションビジネス論 : 玉村 雅美
5. リテールマーケティング I : 畑中 修司
6. ビジュアルマーチャンダイジング I : 大橋 康子
7. ファッション画 : 松本 和子
8. ファッション造形 I : 城代 蘭
9. 素材 : 飯島 裕子
10. ファッション論 : 上間 常正
11. パソコンワーク : 塚田 大祐
12. コミュニケーションマナー I : 秋山 美子
13. 英会話 I (シニアコース) : SUZANNE STEINER
14. 英会話 I (エレメンタリーコース) : JERRY SCHLEGEL
15. フランス語 I : TOUSCOZ PHILIPPE-JEAN

科目名	スタイリング I	教員名	難波 由美子
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・スタイリストの種類や仕事を知り、ファッションコーディネート楽しさを体得することを目指す。 ・ファッションアイテムなどの基礎を学び、コーディネートのスキルを養う。 ・グループ制作活動を通じて協調性と自主性を身につけ、スタイリストやファッションアドバイザーとしてのコミュニケーション力の習得を目指す。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・色・柄・素材・形をトータル的に考え、ファッションコーディネートの提案ができるようになること。 ・テーマやイメージに合わせたコーディネートができるようになること。 ・クライアントやカメラマン、顧客に対して、ファッション用語で話し説得力のある説明ができるようになること。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを通して、コミュニケーション力を養えるように努めていく。 ・自主的に自分自身を磨こうとしたり、世の中の動きにアンテナを張れるように、常に情報収集を心掛けることを伝えていく。 ・撮影実習を通して、創造する力や発想力を身につけられるように指導する。 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題(出来栄えなどの構成力も含む) 40% ・コーディネート力 20% ・スタイリストの実技 20% ・テスト 20% ・出席率 加点+0~15% ・授業、課題に対する積極性、授業態度 加点+0~10% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	スタイリングコーディネート基礎	スタイリングコーディネートの三要素
2回	撮影実習1	テーマに合わせたコーディネート撮影
3回	ファッションが教えてくれたこと	ビデオ鑑賞を通してファッション業界を学ぶ
4回	撮影実習2	テーマに合わせたコーディネート撮影
5回	スタイリングを提供する仕事	スタイリストの種類や内容を知る
6回	確認テスト/学校のショーを知る	確認テスト/学校のショーの内容をビデオ鑑賞で学ぶ
7回	アイロンのかけ方	アイロンの温度と衣類の取り扱い方
8回	アイテムの基礎/リサーチ	基本アイテムの種類/リサーチ
9回	アイテムの基礎/リサーチ	基本アイテムの種類/リサーチ
10回	アイテムの基礎/リサーチ	基本アイテムの種類/リサーチ
11回	撮影実習3	物撮り
12回	物撮りの講評/確認テスト	物撮りの講評/ペーパーテストと実技テスト
13回	共通性のあるコーディネート	色・柄の共通性を持たせたスタイリング
14回	共通性のあるコーディネート	色・柄・素材・アイテムの共通性を持たせたスタイリング
15回	撮影準備①	テーマやコーディネートの打ち合わせ
16回	撮影準備②	衣裳、メイク、ヘアの打ち合わせ
17回	撮影準備③	コーディネートチェック、スタイリストとモデルの打ち合わせ
18回	撮影実習4	プロのカメラマンによる撮影実習
19回	ポートフォリオについて	撮影実習の仕上がりをもとにポートフォリオについて学ぶ
20回	イメージ表現	イメージに合わせた服選び
21回	小物の基礎知識	アクセサリ、シューズ、帽子、バッグの基礎知識
22回	体型フォローテクニック	体型をカバーするスタイリング
23回	店舗の流行リサーチ	秋の流行リサーチ
24回	スタイリングコーディネート	モデル科カメラワーク撮影の衣装準備
25回	服に小物が溶け込んだコーディネート	服や色に合わせた小物をコーディネート
26回	後期まとめ/確認テスト	テスト/未完了課題の完成
27回	シルエットとディテール	ワンピースの種類とディテール
28回	平面ドレープ	平面ドレープの下絵
29回	平面ドレープ	生地、レース、リボン等で半立体の服を作る
30回	平面ドレープ/総復習	生地、レース、リボン等で半立体の服を作る/実技のレッスン

科目名	ヘアメイク	教員名	星野 尚之
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>日々洋服を着替える事と同等に、ヘアメイクでTPOに合わせて自身の印象を調整できるスキルを身につけます。</p> <p>ファッション業界をリードする人々は、いわゆる『おしゃれへのこだわり』を数多く持っています。</p> <p>この授業では、ヘアメイクの実践講習を通し、印象調整力・アレンジ力・演出力・表現力等を養うことで、『こだわり』の数を増やし、ファッション業界をリードしていく人材へ成長していくためのお手伝いをします。</p> <p>また、授業にネイルアート実習なども取り入れ、自身のファッション度アップに挑戦し、一人ひとりのセンスアップにも繋げていきます。</p>		
到達目標	<p>自らが苦勞し、悩み、努力し、挑戦し獲得したヘアメイク等のスキルや、自分自身のセンスアップ経歴を仕事に生かし、卒業後に所属する企業等のあらゆる現場で、幅広く生かすことができるようになることを目標とします。</p>		
授業の方法	<p>各種広告・雑誌・ファッションショー等の現場の状況解説を通し、</p> <p>また、相モデル等での実技講習を行うことで、実践的なヘアメイクの知識・技術の指導を行います。</p> <p>何かを学ぶ、覚える、計算する、制作する等の左脳的学習とは異なり、</p> <p>発見する、感じ取る、想像する、生み出す力を刺激する授業になります。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物有無・出来栄え・伸長度 50% ・出席率 20% ・受講態度 15% ・課題取り組み姿勢 15% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	目標設定 道具説明 錯覚の作用	センスアップ、変化すること、できること
2回	ベースメイク から ファンデーション	質感、輝き
3回	アイブロウ1	お手入れ、修正、描き方
4回	アイブロウ2	セクシー、クール、キュート 印象別
5回	アイメイク(アイライン)	セクシー、クール、キュート 印象別
6回	アイメイク(アイシャドー)	セクシー、クール、キュート 印象別
7回	アイメイク(まつげ)	セクシー、キュート 印象別
8回	アイブロウ3	レパートリーの重要性
9回	チーク	セクシー、クール、キュート 印象別
10回	リップ	セクシー、クール、キュート 印象別
11回	遠心的 求心的	印象調整力強化
12回	フェイスーンバランス	印象調整力強化
13回	トータルメイク セクシー	セルフスケール
14回	トータルメイク クール	セルフスケール
15回	トータルメイク キュート	セルフスケール
16回	ヘアー セクシー	カール ウェーブヘアー
17回	ヘアー クール	ブロー ストレート
18回	ヘアー キュート ポニーテールベース	キュート、スポーティー
19回	ヘアー パンク ロック	既成概念を壊し新たなデザインを作り出す
20回	ヘアー エレガント アップ	夜会巻き ソフトアップ
21回	ヘアー ポニーテール毛先処理 お団子	各種まとめ髪 お団子
22回	編み込み	各種編み込み
23回	エクステ	テクニック、色の組み合わせ
24回	トータルヘアメイク	セルフスケール
25回	トータルヘアメイク	セルフスケール完成
26回	ネイルアート1	設計図、ネイルの形、ベース
27回	ネイルアート2	ベース、装飾、ペイント、
28回	ネイルアート3	装飾、ペイント、組み立て
29回	ネイルアート4 ヘアメイク 撮影	ヘアメイク、撮影
30回	ネイルアート予備 ヘアメイク 撮影	最初の授業で提出の目標設定を確認

科目名	カラー	教員名	杉本 祐子
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>最終目標は、ファッション業界で仕事をする際、現場で必須の色彩の知識を習得することであり、1年次では色彩のはたらき・効果などの知識と、配色の理論・技法などについて演習を重ね理解を深める。色彩は利用分野が広く、各教科との関連も深いので、興味を持って楽しく学習できるようにしたい。</p> <p>概要： ①色彩の基本 ⑤ファッション産業と色彩 ②色彩の配色技術 ⑥ファッションイメージと色彩 ③色彩心理 ⑦ファッション色彩能力検定対策 ④ファッションカラーコーディネーションの配色技法</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の基本的な知識、配色技法などを確実に理解すること。 ・ファッション色彩能力検定の3級取得を目指す。 		
授業の方法	<p>講義： テキストおよびオリジナルのプリントを使用し色彩全般や配色効果を習得する。 丁寧に分かりやすさをモットーに、興味深い内容を工夫し、ファッション色彩能力検定にも繋げていく。</p> <p>演習： 理論だけでなく、できるだけ配色演習などを重ね、体験することにより理解を深める。 演習のほかに各自の個性を表現できる課題にも取り組む。</p>		
成績評価の方法	<p>◎課題(提出期限も含む)： 課題8(作品数10)、演習5 ○完成度 40% ○創造性20%</p> <p>◎期末テストの結果 40%</p> <p>◎授業、課題に対する積極性・授業態度 加点 +0~10%</p> <p>◎出席率 加点 +0~15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>美術展鑑賞や新しいトレンドの動向などを積極的にチェックし、感性を磨く努力をしてください。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	第1章：概論・色彩のはたらき	色彩のはたらきと役割、カラーチャートの作成
2回	第2章：色彩の体系	マンセルカラーシステム、色の三属性、色相、明度、彩度
3回	〃	オリジナルの色相環を作成しながら理解を深める
4回	〃	〃
5回	：ヒュー&トーンシステム	純色、清色、濁色、トーンのカラーチャート作成
6回	第3章：色彩理論の基礎	光と色、三原色と混色、視覚と色、眼球の仕組み
7回	：色彩心理	色の見え、対比、残像、同化、錯視
8回	〃	色彩の感情効果と表現
9回	第4章：色彩の技術	色相を基準にした配色
10回	〃	同一、類似、中差、対照、補色などによる配色演習
11回	〃	トーンを基準にした配色
12回	〃	同一、類似、対照などによるトーン配色演習
13回	夏休み前の学習の総復習	テキスト、問題集で夏休み前の学習の再確認
14回	前期の復習、テスト	前期の復習、テスト
15回	前期のフォローアップ	前期授業のフォローアップ
16回	第4章：色彩構成のテクニック	シンメトリー、アシンメトリー、グラデーション、アクセントなど
17回	第5章：ファッション産業と色彩	企画・生産・流通それぞれの段階の色彩
18回	〃	流行色のできるまで、流行色の変遷、色名
19回	ファッションカラーコーディネーションの技法①	カマイユ配色、フォ・カマイユ配色
20回	〃 ②	トーン・オン・トーン配色、トーン・イン・トーン配色
21回	〃 ③	トータル配色、ドミナントカラー配色
22回	〃 ④	マルチカラー配色、アクセントカラー配色
23回	〃 ⑤	トリコロール配色、ビコロール配色
24回	前期・後期の復習、テスト	前期・後期の復習、テスト
25回	ファッション色彩能力検定対策	検定範囲の総復習、問題集活用
26回	〃	〃
27回	後期のフォローアップ	後期授業のフォローアップ
28回	ファッションイメージと色彩	エレガント、クラシック、モダン他ファッションイメージと色彩
29回	〃	イメージマップの作成
30回	〃	〃

科目名	ファッションビジネス論	教員名	玉村 雅美
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ファッション業界で仕事をするうえで必要な基本的なビジネス知識の一つとして位置づける。</p> <p>ファッションを毎日の生活のなかで捉えながら、流行を生み出すプロセスとその特徴を学びます。</p> <p>また、衣服の流通システムを理解するとともに、業界用語の意味を幅広く習得していきます。</p> <p>後半は、業界で重要視されているブランドの役割と価値を理解し、顧客との関連性について学びます。</p> <p>さらに、「ファッション感性イメージ」と「トレンドの要素」との関連性も実習を通じて理解を深めていきます。</p> <p>一年を通じて、講義とマップ制作から業界知識を習得し、感性を磨いていきます。</p>		
到達目標	<p>◎ファッション業界でよく使われる基本的な専門用語を理解し、現場で活用できるようにする。</p> <p>◎「ファッションのイメージ」と「トレンドの要素」の関連性を理解し、服を深く理解し、表現力をつける。</p> <p>◎マップ制作(視覚的にまとめたもの)を通じて講義内容の復習と思考力、編集力、美意識を高めていく。</p>		
授業の方法	<p>◎講義と実習(マップ制作)を交えて授業に飽きないように指導する。</p> <p>◎授業で取り上げた用語をファッションビジネス用語辞典で確認し、理解を深める。</p> <p>◎マップ制作を通じてファッションの楽しさ、学ぶ意欲を高めていく。</p>		
成績評価の方法	<p>◎課題の内容・出来栄え(含む、提出期限) 50%</p> <p>◎テスト 50%</p> <p>◎授業、課題に対する積極性・授業態度(マナー) 加点+0~10%</p> <p>◎出席率 加点+0~15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>◎教材として「ファッションビジネス用語辞典」を使用します。</p> <p>◎ファッション雑誌や、店舗商品カタログなどのビジュアル資料を収集し活用します。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業予定、ファッションを学ぶ、制作方法
2回	ファッションの意義	ファッションと流行の特徴
3回	↓	↓ 制作、他
4回	↓	FBと生活者ニーズ
5回	ファッション産業	ファッション業界の仕組み
6回	↓	アパレル産業の形態と現状
7回	↓	ファッション小売産業と現状
8回	↓	↓ 制作、他
9回	ファッションとライフスタイル	ファッションとライフスタイル
10回	まとめ	まとめ講義、テストについて、制作
11回	↓	前期のまとめ&テスト
12回	↓	前期のまとめ&ファイルチェック
13回	ファッションとブランド	ブランドの意義と特徴
14回	↓	ファッションブランドの種類
15回	顧客とファッション	顧客とファッション商品の細分化
16回	↓	ファッションテイスト 解説、店舗調査
17回	↓	ファッションテイスト 制作、感性イメージについて
18回	↓	ファッションイメージ感性分析① エレガンス マップ制作
19回	↓	ファッションイメージ感性分析② マスキュリン マップ制作
20回	↓	ファッションイメージ感性分析③ ソフィステケート マップ制作
21回	↓	ファッションイメージ感性分析④ スポーティー マップ制作
22回	↓	ファッションイメージ感性分析⑤ カントリー マップ制作
23回	↓	ファッションイメージ感性分析⑥ ロマンティック マップ制作
24回	↓	ファッションイメージ感性分析⑦ フォークロア マップ制作
25回	↓	ファッションイメージ感性分析⑧ モダン マップ制作
26回	↓	ファッションイメージトレンド まとめ 各イメージとの関連
27回	総括	ファッションビジネス用語① 復習
28回	↓	ファッションビジネス用語② ↓
29回	↓	後期のまとめ&テスト
30回	↓	前期のまとめ&ファイルチェック

科目名	リテールマーケティングⅠ	教員名	畑中 修司
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>「ファッション販売能力検定3級」の対策に軸足をおき、授業を進めていきます。一方、生きた仕事の場の知識として、販売についての面白さ、楽しさなどを伝えていきます。</p> <p>「販売＝コミュニケーション」です。コミュニケーションの上手・下手は個人差はありますが、個性を活かすことの重要性を理論を通して伝えていき、現場に出ても自信を持って商品の案内ができるよう、意識づけしていきます。</p> <p>行動心理学的・社会心理学的な要素と、販売で最も必要なAIDMAを具体的な方法で案内していきます。また、データやリストの重要性も伝えていきます。</p>		
到達目標	<p>ファッション販売能力検定3級 100%合格を目指します。</p> <p>また、お客様の欲望やニーズに「共感できる能力」や人間性の勉強をしていきます。</p>		
授業の方法	<p>「ファッション販売能力検定3級」のテキストを用いて、授業の中で、要所を抜き出すプリントを準備して、記入していく方法と、「ファッション販売能力検定試験問題集3級」を使って、問題を出題する方法を取ります。</p> <p>また、いずれかのタイミングで、スタイリストとして活躍している卒業生に来ていただき、スタイリストの仕事をするときに乗り越えることと、実際の仕事の内容について講演してもらいます。</p>		
成績評価の方法	<p>期末にテストを行い、得点した点数で評価します。(テストの難易度に応じて加点調整する場合があります)</p> <p>出席率はその度合いによって加点評価します。</p> <p>ただし、出席率50%以下は無条件で「不可(F)」となります。</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>プリントを多く配布しますので、確実にファイルしておくようにしてください。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業内容の説明、注意事項、2年後の自分(目標設定)
2回	心理学的接客の準備	ソーシャルスタイル(対人性向)と現場の販売心理学
3回	ファッション販売能力検定3級対策1	ファッションの語源等、販売員の基礎知識
4回	ファッション販売能力検定3級対策2	ファッション・マーケティングについて
5回	ファッション販売能力検定3級対策3	小テスト
6回	ファッション販売能力検定3級対策4	ファッション販売業務について
7回	ファッション販売能力検定3級対策5	ファッション販売技術について
8回	ファッション販売能力検定3級対策6	店舗演出・VP展開、品質表示、アイテムについて
9回	ファッション販売能力検定3級対策7	プロジェクターによるクイズ形式のテスト
10回	マーケティングの全体概念	調べる・お客様を絞る・作る・値段をつける・準備する・知らせる
11回	FA・スタイリストの仕事の基本意識	顧客意識・品質意識・協調意識・目標意識・改善意識など
12回	欲求の理論と自己ブランディング	マズローの欲求5段階説と自己肯定感
13回	小売段階に必要なテキスタイル知識1	糸、組織などの、販売のプロとしての知識
14回	小売段階に必要なテキスタイル知識2	産地、海外の展示会の、販売のプロとしての知識
15回	前期カリキュラムの総復習と検定対策	理解度の確認とテスト
16回	商品クレームの種類と対応の現場	代表的な商品クレームと修整作業の可能性と限界
17回	ファッション販売能力検定3級対策8	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ A科目①
18回	ファッション販売能力検定3級対策9	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ A科目②
19回	ファッション販売能力検定3級対策10	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ A科目③
20回	ファッション販売能力検定3級対策11	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ B科目①
21回	ファッション販売能力検定3級対策12	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ B科目②
22回	ファッション販売能力検定3級対策13	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ B科目③
23回	ファッション販売能力検定3級対策14	プロジェクターによるクイズ形式のテスト
24回	検定3級試験対策 模擬テスト	過去に出題されたものからテスト
25回	答え合わせ	重要ポイントの説明と反復
26回	購買のための準備と行動	AIDMAとAISASの説明とインスタマーチャンダイジング
27回	SWOT分析の理解	強み、弱み、機会、脅威の分類の仕方
28回	フリークエンシーショッパーズプログラム	パレート法則とロングテール理論を易しく説明
29回	集客のポイント	SNSやステップメールなどの具体的活用について
30回	マーケティング理論のおさらい	小売業のマーケティング理論のおさらい

科目名	ビジュアルマーチャンダイジング I	教員名	大橋 康子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>VMDとはビジュアルマーチャンダイジングの略称で、視覚に訴えながら、お客様の購買を喚起する、ディスプレイによるマーケティング手法の略称です。①ビジュアルプレゼンテーション(VP) ②ポイントプレゼンテーション(PP) ③アイテムプレゼンテーション(IP) の3点が主な要素になり、これらによって、「見やすい」「買いやすい」売り場作りを行っています。</p> <p>この授業では、まずはVP・PP・IPがそれぞれどのような役割を果たしているのかを学びます。</p> <p>そして、VP(ウィンドウ等)を重視し、店舗の商品を含めた全体の演出方法について学んでいきます。</p> <p>また、表参道、原宿の季節ごとのVPについて、実際にリサーチを行い、VPの表現方法を学びます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルマーチャンダイジングの考え方の基本を理解すること。 ・VP、PP、IPの役割を理解し、効果的な店舗・売り場づくりの基本を習得すること。 ・VMDに必要な発想力を養うこと。 		
授業の方法	<p>講義を通してVP、PP、IPの各目的、役割を理解し、実習を通してスキルとして体得できるように、三要素を中心に指導します。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・プランニング課題(クリスマス、バレンタイン) 完成度、アイデア、デザインを評価 30% ・シーズンレポート(夏、ハロウィン) レポート内容を評価 30% ・VMD理解度 実習作業・小テストでのVMD理解度評価 40% ・提出期限、出席率、授業態度 加点評価+0~15% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	VMDとは何か？ VMDの目的、考え方等
2回	VMDマップ	VMDの用語、ポジショニング
3回	ショップのVMD	VP：ウインドウ、マネキン・トルソー
4回	↓	VP：演出、ウインドウリサーチ
5回	↓	IP：ラック、ハンガー、器具、什器
6回	↓	IP：高さの有効範囲、平面図
7回	商品のVMD	商品の並べ方(陳列の基本)
8回	↓	グルーピング、色順、分類整理
9回	仮ショップ実習	仮ショップによる空間構成、商品構成、システム什器仕様
10回	↓	↓
11回	↓	↓
12回	プランニング(Ⅰ)	クリスマスウインドウ
13回	プランニング(Ⅱ)	バレンタインツール プラン企画書、サンプル制作
14回	↓	↓
15回	↓	↓

科目名	ファッション画	教員名	松本 和子
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ファッション業界において、ファッション画(イラスト、製品図)が描ける事は、イメージの表現伝達手段の一つとして、便利なことであり、大切なことです。</p> <p>ファッション画の基礎を学ぶことで、他の授業、就職活動、その後の仕事上でのステップアップに役立ててもらいたい。</p> <p>絵を描く事は、対象物(人間、服、ファッショングッズ)をよく見ることです。</p> <p>どの様に考え、服を捉え絵にしていくか？</p> <p>苦手意識を持っている人にも、シンプルに解りやすく、合理的に授業を進めていきます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション画の基本を理解し、イメージを伝達するための基礎的な描写手法を習得すること。 ・ファッション画を学ぶことで、服に対する興味と理解を深め、それまで漠然と眺めていた服を、もっと専門的に観る習慣を養うこと。 ・絵を描く中で服に関する専門用語を理解し、専門用語を使って服の説明ができるようになること。 (イメージしたスタイリングを絵型で説明できることを目指す) ・必要に応じてファッション画が描けるという自信を身につけること。 		
授業の方法	<p>学生の性格、個性、能力を理解したうえで、持っている良い部分を伸ばしていく。</p> <p>また、努力することで、学生自らが成長する楽しさを感じ取れる授業を目指す。</p> <p>少しづつでも自信が持てるようになり、新しい事にチャレンジする気持ちを育てていきたい。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ★ 課題の出来映え(含む、提出期限) 80% ★ 授業、課題に対する積極性 20% ★ 授業態度(マナー) 加点+0~20% ★ 出席率 加点+0~10% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>絵を描くことを、難しく考え過ぎないこと。</p> <p>きちんと出席し、手を動かすことで1年間の答えが出ます。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	F画を学ぶ目的、画材の説明、F画の基本練習 等
2回	プロポーション	F画の基本バランス、ポーズ及び動きについて
3回	シルエット 画材の扱い	基本シルエットの表現、画材の特徴を体験
4回	人体部分練習 メンズの表現	頭部、顔、手、腕、脚
5回	↓	メンズのプロポーション、ポーズ
6回	着装表現, 製品図 (基礎)	基本アイテムの表現 スカート
7回	↓	↓ パンツ
8回	↓	↓ シャツ
9回	↓	↓ ブラウス
10回	ディテール表現	袖、衿、プリーツ、ギャザー 等
11回	↓	↓
12回	ファッショングッズ	帽子、靴、バッグ、ベルト 等
13回	素材表現	ファー、デニム、キルティング
14回	↓	透明、光沢 等
15回	コラージュ	平面的に形を捉える
16回	着装表現、製品図 (応用)	基本アイテムの表現 ワンピース
17回	↓	↓ ジャケット
18回	↓	↓ "
19回	↓	↓ コート
20回	↓	↓ "
21回	男女ペアの表現	プロポーション、骨格の違いを意識する
22回	↓	↓
23回	民族服	ファッションの歴史を学びながら、民族服の特徴を表現する
24回	↓	↓
25回	自分の持っている服を描く	実物を正確に観察する (シルエット、ディテール)
26回	↓	↓
27回	ワードローブプランニング	一年間のまとめとして
28回	↓	スタイリングを含め、12か月の服を描く
29回	↓	↓
30回	↓	↓

科目名	ファッション造形 I	教員名	城代 蘭
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>機能性や快適性、多様化するライフスタイルへの対応等、現代における「ファッション」には、さまざまな付加価値が求められており、ファッション業界での仕事に携わる人にとって、服作りについての専門的な知識は欠く事の出来ない大切なことと言える。</p> <p>コーディネートを学ぶ上でも、用途・目的なども含め、素材や加工、機能、着心地について理解を深める事で、幅広い対応が出来るようになる。</p> <p>手縫いの基礎ではボタン付けやまつり縫い、ミシンの基礎では縫い代の始末を学び、アイテム製作ではデザインに合わせた素材の選択、構造と縫製技術について学ぶ。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・服作りの基礎を習得し、構造を理解すること。 ・簡単なお直しができるようになること。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し手縫いとミシン縫製をし、技術を身につける。 ・作品を製品と捉え、コストや着心地についても考える。 ・自己採点をすることで、苦手とする部分を見つけ、克服していくよう指導する。 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の出来栄え(提出期限含む) 40% ・授業態度、積極性 10% ・確認テスト 30% ・出席率 20% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業内容の説明/道具の説明/衣服製作の手順/採寸説明
2回	採寸/手縫いの基礎(1)	採寸実技/手縫いの基礎練習
3回	小物の構造と工程(1)	ピンククッション製作
4回	ミシンの基礎(1)	ミシン・ロックミシンの構造説明/ミシンの基礎練習/道具入れ
5回	↓	↓
6回	小物の構造と工程(2)	巾着製作
7回	ミシンの基礎(2)	基礎縫い 端の始末
8回	小物の構造と工程(3)	トートバッグ製作
9回	↓	↓
10回	↓	↓
11回	手縫いの基礎(2)	基礎縫い ボタン付け3種・スプリングホック・前カン・まつり・千鳥がけ・糸ループ
12回	↓	↓
13回	帽子の構造と工程	帽子の種類 裁断/縫製
14回	↓	↓
15回	前期のまとめ、前期テスト	前期のまとめ、確認テスト
16回	パンツの構造と工程	パンツの種類 裁断/縫製
17回	↓	↓
18回	↓	↓
19回	↓	↓
20回	↓	↓
21回	シャツ/パーカーの構造と工程	シャツ/アウター(パーカー)の種類 裁断/縫製
22回	↓	↓
23回	↓	↓
24回	↓	↓
25回	↓	↓
26回	↓	↓
27回	ワンピース/服飾雑貨企画	ワンピース/オリジナル服飾雑貨のデザイン/製作
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	1年間のまとめ、後期テスト	1年間学んだ縫製内容 筆記・実技

科目名	素材	教員名	飯島 裕子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>普段、私たちが身につけている服は、どんな素材でできているのか。そして、その服には、なぜその素材が使われているのか。それは季節やトレンドはもちろんのこと、素材の持つ特性がその服に適しているから使われているのです。この授業では、アパレル業界に関わっていく全ての人に役立つ、服地素材の知識を学びます。服地素材と一言で言っても、服地とは繊維が糸になり、糸が布に織られ、更に布自体へ様々な加工が施されたものですので、それら全てについて理解を深める必要があります。また、授業の初めに、服に縫い付けられている品質表示について学びます。一番身近でありながら、よく知らない品質表示。服を企画する仕事では、素材の混率を計算し品質表示ラベルを作らなければなりませんし、服を売る仕事では、品質表示を的確にお客様に説明できることがセールスポイントになります。アパレルの基本となる服地素材の知識をしっかりと身につけてください。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・服地素材の基本的な知識を習得し、服地の的確な取り扱い方法を知ること。 ・それぞれの服に適した素材選びについて理解し、顧客やクライアントに分かりやすく説明ができることで、より良いセールストークに繋げられるようになること。 		
授業の方法	<p>様々な種類の布見本を一冊の「テキスタイルサンプルブック」に貼り付け、そのサンプルブックを併用しながら講義を進めます。ファッション用語辞典で服地の特徴を調べ、サンプルブックに書込むことで、実際の生地を見て、触れて、覚えるというトレーニングを行います。また、年間を通し授業で学んだ服地を生地店でチェックする課題を出し、生地店に足を運び素材と触れ合うことの大切さを学びます。サンプルブックや課題は、きれいにまとめることにより、社会に出て必要になる「人に見せられる資料」作りも学びます。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記テスト(年2回) 40% ・課題の出来栄えと提出状況 60% ・出席率 +0~15% (その度合いにより加点評価) ・授業態度 +0~10% (その度合いにより加点評価) <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ガイダンス／品質表示	素材の授業について／品質表示について
2回	品質表示／被服の性能／ブック	品質表示について／洗濯の知識／テキスタイルサンプルブックの作成
3回	天然繊維Ⅰ	綿服地について
4回	↓	綿繊維について
5回	天然繊維Ⅱ	麻服地、繊維について
6回	天然繊維Ⅲ	ウール服地について
7回	前期まとめ、テスト	前期まとめ、前期筆記試験
8回	天然繊維Ⅲ	ウール繊維について
9回	天然繊維Ⅳ	シルク服地、繊維について
10回	被服の性能	クリーニング工場見学
11回	化学繊維Ⅰ	再生繊維と半合成繊維の服地、繊維について
12回	化学繊維Ⅱ	合成繊維、無機繊維の服地、繊維について
13回	糸について／織物	糸の種類と特性／織物の種類と構造
14回	テスト／ニット	後期筆記試験／ニット服地について／編物の種類と構造
15回	布の加工／織、編以外の素材	柄の種類や染色、整理加工／不織布や革、毛皮

科目名	ファッション論	教員名	上間 常正
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ファッションについて学び、考えるために必要な基礎的知識。</p> <p>人が服を着ること、身体を飾ることの意味を、伝統的服飾文化から現代ファッションに至るまでの流れを通して解説する。</p> <p>①服を着ることの意味とファッションの歴史</p> <p>②近代・現代ファッションの特色と今後の見通し</p> <p>③ファッションクリエイションの特色、スタイリング・コーディネートとファッションモデルの仕事のクリエイションとはどのようなことなのか</p>		
到達目標	<p>①人はなぜ服を着るのか、身体を飾るのか？ について深い理解を得る。</p> <p>②ファッションの歴史を知ること、ファッションの現状とこれからの可能性を考える能力を高める。</p> <p>③スタイリスト・コーディネーターの仕事に必要なクリエイションとはどのようなことかを知り、それがデザインやビジネスのクリエイションとも深く共通していることを理解できるようになる。</p> <p>また、この仕事にはコミュニケーションの技術がとりわけ必要なことを理解すること。</p>		
授業の方法	<p>講義形式を基本とするが、スライドやビデオをなるべく使って理解の手助けとする。</p> <p>テーマによっては質問を投げかけて学生の意見参加を求め、かつ成績評価の参考とする。</p> <p>内容によっては感想文やレポートの提出を求める。</p>		
成績評価の方法	<p>①出席率と授業態度 40%</p> <p>②感想文・レポート 40%</p> <p>③質問への答えによる理解力の判定 20%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ファッションの基礎知識	人はなぜ服を着るのか ファッションと流行
2回	ファッションの楽しさ	2018年秋冬コレクションのスライド解説
3回	ファッションの歴史 ①	人はいつから服を着たのか？ 服の基本形
4回	” ②	近代ファッションの成立と特色
5回	” ③	オートクチュールの成立とデザイナーの出現
6回	” ④	プレタポルテの出現とブランドビジネスの拡大
7回	ファッション業界の仕組み	川上から川下までの流れと各仕事の役割
8回	スタイリスト・コーディネーター論	どのような仕事か クリエーションの必要性
9回	スタイリストの手の内	有名スタイリスト・コーディネーターの仕事の実例紹介
10回	ファッションモデル論	モデルの役割とは 身体表現のクリエイション
11回	ファッショントレンドについて	トレンドの意義と取り入れ方
12回	スタイリスト・コーディネーター、モデル	共通する技術について
13回	ファッション発信の現場	マーク・ジェイコブスのコレクション舞台裏のドキュメント映画と解説
14回	ファストファッションと東京のリアルクローズ	その現状とこれからの方向
15回	全体のポイントの復習	覚えておくべきポイント 今後のファッションの可能性

科目名	パソコンワーク	教員名	塚田 大祐
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>ファッションの業界においても、パソコンを使用しないで仕事をするという事はあり得ません。</p> <p>Webでの画像加工や印刷物の作成、売上管理や顧客管理などではパソコンが絶対必須のツールになります。</p> <p>この科目では、画像加工をするPhotoshop Elements、印刷物を作成するIllustrator、案内状等を作成するword、売上管理や顧客管理等で使用するExcel、プレゼンテーションや企画書に使用するPowerPointの基本操作を習得し理解していきます。</p> <p>パソコンでできることは多岐に渡ってありますが、使用すればするほど自分のクリエイティブな部分を広げてくれるツールですので、1年間の中で基本操作をマスターし、自分のイメージしたものを形にできるように指導します。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Photoshop Elements : 画像の加工・合成・編集等の操作を習いながら、SNSやカタログ等に使用する画像の加工方法を習得すること。 ・Illustrator : トレンドマップやポストカード等の作成に必要な操作を習いながら、Photoshop Elementsで加工した画像を貼り付けて1つの作品を完成させること。 ・ワード : 表組みや画像取り込みも含めた簡単な案内状の作成ができること。 ・エクセル : 見やすい表組み作成と代表的な関数・グラフを使用してデータ作成ができるようになること。 ・パワーポイント : プレゼンテーション資料や企画書を作成する手法を習得すること。 		
授業の方法	<p>各アプリケーションごとに資料を用意し、全員同じものを作成しながら基本操作を学んでいきます。</p> <p>その後に、課題(例:自分の好きなアーティストのカラージュなど)を作成して、制作条件やバランスを見て評価します。</p>		
成績評価の方法	<p>課題の出来映え(デザインや全体のバランス、アプリケーションの機能をうまく活用しているか) 50%</p> <p>授業に対する態度・マナー 20%</p> <p>出席率 30%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	授業進行の説明 Photoshop Elementsの基礎1	PCのセッティング・操作方法・データ保存方法・データの取り扱いについて・フォルダの作成、画面構成説明
2回	Photoshop Elementsの基礎2	画像の切り抜き1・合成・レイヤー操作1(レイヤーとは・表示非表示等)
3回	Photoshop Elementsの基礎3	画像の切り抜き2・画像の補正
4回	Photoshop Elementsの基礎4	パターン作成・レイヤー操作2(レイヤースタイル・レイヤー間の移動)
5回	Photoshop Elementsの基礎5	画像・文字の加工
6回	Photoshop Elementsの基礎6	レイヤーマスク・フィルタ効果
7回	Photoshop Elements課題作成	自分の好きなもののコラージュを作成 (素材決めとレイアウト構成の決定)
8回	Photoshop Elements課題作成	自分の好きなもののコラージュを作成
9回	Photoshop Elements課題作成	自分の好きなもののコラージュを作成
10回	Photoshop Elements課題作成	自分の好きなもののコラージュを作成・印刷・課題提出
11回	ワード	案内状の作成方法(インデント・タブ・表組み・行間設定等)
12回	ワード／テスト	案内状・チラシの作成方法(画像挿入、ワードアート等)／テスト
13回	エクセル	基本操作(文字・数値入力・罫線作成・四則演算) 使用頻度の高い関数の使用方法
14回	エクセル	表作成・商品管理等に必要な関数など使用頻度の高い関数の使用方法1
15回	エクセル／テスト	表作成・商品管理等に必要な関数など使用頻度の高い関数の使用方法2/ テスト
16回	Illustratorの基礎1	画面構成説明・オブジェクトの塗りと線・図形作成・編集
17回	Illustratorの基礎2	A4チラシを作成しながらの演習(レイヤー操作・グラデーション作成・ 拡大縮小・回転などの使い方)
18回	Illustratorの基礎3	A4チラシを作成しながらの演習(文字の入力・画像の挿入・ クリッピングマスクの作成)
19回	Illustratorの基礎4	A4チラシを作成しながらの演習(文字の加工・画像の加工とレイアウト)
20回	Illustratorの基礎5	DMを作成しながらの演習
21回	Illustratorの基礎6	DMを作成しながらの演習
22回	Illustrator課題作成	トレンドマップの作成(IllustratorとPhotoshop Elementsの併用)と 素材集め
23回	Illustrator課題作成	トレンドマップの作成(IllustratorとPhotoshop Elementsの併用)
24回	Illustrator課題作成	トレンドマップの作成(IllustratorとPhotoshop Elementsの併用)
25回	Illustrator課題作成	トレンドマップの作成(IllustratorとPhotoshop Elementsの併用)／ 課題提出
26回	パワーポイント	基本操作(スライドの追加・図形等の挿入)画像等の加工など
27回	パワーポイント	スライドマスター・スライドショーの設定、動画挿入など
28回	パワーポイント課題作成	企業の紹介プレゼン資料作成の課題
29回	パワーポイント課題作成	企業の紹介プレゼン資料作成の課題
30回	パワーポイント課題作成	企業の紹介プレゼン資料作成の課題

科目名	コミュニケーションマナー I	教員名	秋山 美子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>社会人になると、友達関係とは異なる、ビジネスを通してつながる人間関係が重要な位置を占めてきます。そこで、仕事をする上で必要不可欠な敬語をはじめ、立ち居振る舞い、ビジネスマナー、コミュニケーションの基本を習得します。</p> <p>人間関係を円滑にし、社会で自分の可能性を広げていく第一歩を作ることができます。</p> <p>まずは、1年後にチャレンジする就職活動に向けて、その基盤を固めていきます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーとコミュニケーションの基本を理解すること。 ・意識しなくても、自然に正しい言葉遣い・立ち居振る舞いがしっかりできること。 		
授業の方法	<p>講義だけでなく、繰り返しのロールプレイングで、基本をブラッシュアップしていきます。</p> <p>一人ひとりの良いところを伸ばし、基本を中心に、各人のレベルにも目を向け指導します。</p> <p>難しい内容もしっかり伝えつつ、明るく楽しく学べる授業を目指します。</p>		
成績評価の方法	<p>◎テスト 30%</p> <p>◎授業の取り組み方(積極性)、授業態度(マナー) 30%</p> <p>◎出席日数 40%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>授業内容はすべて、日常生活の様々なシーンで実践ができます。</p> <p>どこでも楽しみながら、さらなる自分磨きをしてください。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ビジネス基本マナー	第1印象の重要性について
2回	↓	好感度の高い第1印象を作る立ち居振る舞い、マナーの必要性
3回	↓	コミュニケーションの基本(話の仕方聞き方、声の影響力和発声)
4回	↓	敬語演習(敬語の種類、使い方など)
5回	↓	↓
6回	↓	↓
7回	前期のまとめ&テスト	前期のまとめ&テスト
8回	ビジネス基本マナー	アルバイト言葉・直したい言葉癖と正しい言葉遣い
9回	↓	ビジネスシーンでの訪問マナー・名刺のマナー
10回	↓	ビジネスシーンでの席次マナー
11回	就職活動対策①	就職活動に向けての心構え・ポイント
12回	就職活動対策②	履歴書・エントリーシートの書き方
13回	後期テスト、ビジネス基本マナー	後期テスト、公の場での立食パーティーマナー
14回	就職活動対策③	面接で自分を伝える準備と技術(自己分析の必要性、ワークなど)
15回	就職活動対策④	↓

科目名	英会話 I (シニアコース)	教員名	SUZANNE STEINER
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>英会話を学ぶ上では、相手が話していることを理解し、自分が思っていることを相手に伝えることができるようになることが重要です。多くの学生は英語は難しいと思っていますが、苦手意識を捨てて、意欲的に授業に参加し、トライしてみることで、自分が「解る&出来る」ことに気づき、それを繰り返すことで、「解る&出来る」といった気持ちが膨らんでいきます。授業では、日常会話の他、海外旅行で役立つ会話、ファッションに関連する会話など、英語で簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。英語でのコミュニケーションがとれるようになると、旅行、友達、仕事など、人生の幅が広がりますので、皆さんに、そういった広い世界を知ってもらえるための手助けをしたいと思っています。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との英語での簡単なコミュニケーションがとれるようになること。 ・日常会話やビジネス会話の基礎を理解し、就職後、仕事に活かすことができるようになること。 ・英語でのコミュニケーションにより、広い世界を知り、豊かな人生を送ること。 		
授業の方法	<p>楽しい英語で、楽しくコミュニケーションし、英語に対する恐怖心をなくすことが基本になります。</p> <p>毎回の授業の始めに、教師が学生に英語で簡単な質問をし、学生は英語でそれに答える訓練をします。</p> <p>そのあと、テキスト&CDおよび教師が用意したレジユメを使用し、リスニングや会話のロールプレイングを行います。授業中はいつでも学生が教師に質問できるので、積極的に質問して、解らないことはその場で解決するようにしてください。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 20% ・授業態度(参加意欲) 20% ・テスト 60% ・フォローのための作文 +30% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>テキストとして「FASHIONABLE ENGLISH a language course for design students」(南雲堂)を使います。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション、Placement Test
2回	0 IT'S NICE TO MEET YOU!	教師と会話、テキスト(Meeting People)・日常会話ロールプレイング
3回	1 WHAT SHALL I WEAR?	教師と会話、テキスト(Clothes and Apparel)・日常会話ロールプレイング
4回	↓	教師と会話、テキスト(Clothes and Apparel)・日常会話ロールプレイング
5回	2 WHAT COLOR IS IT?	教師と会話、テキストブック(Colors and Patterns)・日常会話ロールプレイング
6回	↓	教師と会話、テキストブック(Colors and Patterns)・日常会話ロールプレイング
7回	3 WHAT'S IT MADE OF?	教師との会話、テキスト(Materials)・日常会話ロールプレイング
8回	↓	教師との会話、テキスト(Materials)・日常会話ロールプレイング
9回	↓	教師との会話、テキスト(Materials)・日常会話ロールプレイング
10回	4 DO THEY MATCH?	教師との会話、テキスト(Coordination)・日常会話ロールプレイング
11回	↓	教師との会話、テキスト(Coordination)・日常会話ロールプレイング
12回	↓	教師との会話、テキスト(Coordination)・日常会話ロールプレイング
13回	5 WHAT'S HOT AND WHAT'S NOT?	教師との会話、テキスト(Styles and Trends)・日常会話ロールプレイング
14回	↓	教師との会話、テキスト(Styles and Trends)・日常会話ロールプレイング
15回	↓	教師との会話、テキスト(Styles and Trends)・日常会話ロールプレイング
16回	6 WHAT DOES HE LOOK LIKE?	教師との会話、テキスト(Describing People)・日常会話ロールプレイング
17回	↓	教師との会話、テキスト(Describing People)・日常会話ロールプレイング
18回	↓	教師との会話、テキスト(Describing People)・日常会話ロールプレイング
19回	7 WHAT'S YOUR PLACE LIKE?	教師との会話、テキスト(Home Decorating)・日常会話ロールプレイング
20回	↓	教師との会話、テキスト(Home Decorating)・日常会話ロールプレイング
21回	↓	教師との会話、テキスト(Home Decorating)・日常会話ロールプレイング
22回	8 WHERE DID YOU GET IT?	教師との会話、テキスト(Shops and Cafes)・日常会話ロールプレイング
23回	↓	教師との会話、テキスト(Shops and Cafes)・日常会話ロールプレイング
24回	↓	教師との会話、テキスト(Shops and Cafes)・日常会話ロールプレイング
25回	9 HOW DO YOU MAKE IT?	教師との会話、テキスト(Sewing and Cooking)・日常会話ロールプレイング
26回	↓	教師との会話、テキスト(Sewing and Cooking)・日常会話ロールプレイング
27回	↓	教師との会話、テキスト(Sewing and Cooking)・日常会話ロールプレイング
28回	10 HOW OFTEN DO YOU GET A HAIR CUT?	教師との会話、テキスト(Daily Routines)・日常会話ロールプレイング
29回	↓	教師との会話、テキスト(Daily Routines)・日常会話ロールプレイング
30回	↓	教師との会話、テキスト(Daily Routines)・日常会話ロールプレイング

科目名	英会話 I (エレメンタリーコース)	教員名	JERRY SCHLEGEL
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>英会話を学ぶ上では、相手が話していることを理解し、自分が思っていることを相手に伝えることができるようになることが重要です。多くの学生は英語は難しいと思っていますが、苦手意識を捨てて、意欲的に授業に参加し、トライしてみることで、自分が「解る&出来る」ことに気づき、それを繰り返すことで、「解る&出来る」といった気持ちが膨らんでいきます。授業では、日常会話の他、海外旅行で役立つ会話、ファッションに関連する会話など、英語で簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。英語でのコミュニケーションがとれるようになると、旅行、友達、仕事など、人生の幅が広がりますので、皆さんに、そういった広い世界を知ってもらえるための手助けをしたいと思っています。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との英語での簡単なコミュニケーションがとれるようになること。 ・日常会話やビジネス会話の基礎を理解し、就職後、仕事に活かすことができるようになること。 ・英語でのコミュニケーションにより、広い世界を知り、豊かな人生を送ること。 		
授業の方法	<p>楽しい英語で、楽しくコミュニケーションし、英語に対する恐怖心をなくすことが基本になります。</p> <p>授業は、テキスト&CDおよび教師が用意したレジュメを使用し、リスニングや会話のロールプレイングを行います。</p> <p>授業中はいつでも学生が教師に質問できるので、積極的に質問して、解らないことはその場で解決するようにしてください。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト 60% ・授業態度(参加意欲) 40% ・出席率 加点+0~30% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>テキストとして「PASSPORT2」(OXFORD UNIVERSITY PRESS)を使います。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション 、 Placement Test
2回	1.What's the purpose of your visit?	Listening、Conversation 、 Role play
3回	↓	↓
4回	↓	Review with worksheet and speaking practice
5回	2.How much is it?	Listening、Conversation 、 Role play
6回	↓	↓
7回	↓	Review with worksheet and speaking practice
8回	3.When is the next train to Xi'an?	Listening、Conversation 、 Role play
9回	↓	↓
10回	↓	Review with worksheet and speaking practice
11回	1～3の復習	テストのための復習
12回	テスト	テスト、まとめ
13回	4.The TV is broken.	Listening、Conversation 、 Role play
14回	↓	↓
15回	↓	Review with worksheet and speaking practice
16回	5.What is there to see?	Listening、Conversation 、 Role play
17回	↓	↓
18回	↓	Review with worksheet and speaking practice
19回	6.I'd like to rent a snowboard, please.	Listening、Conversation 、 Role play
20回	↓	↓
21回	↓	Review with worksheet and speaking practice
22回	7.Tell me about your country.	Listening、Conversation 、 Role play
23回	↓	↓
24回	↓	Review with worksheet and speaking practice
25回	8.How was your weekend?	Listening、Conversation 、 Role play
26回	4～7の復習	テストのための復習
27回	テスト	テスト、まとめ
28回	8.How was your weekend?	Listening、Conversation 、 Role play
29回	↓	Review with worksheet and speaking practice
30回	Free conversation	Free conversation

科目名	フランス語 I	教員名	TOUSCOZ PHILIPPE-JEAN
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	<p>初めてフランス語を学ぶ人のための、初級レベルのフランス語会話をマスターします。</p> <p>概要 : 挨拶、数の数え方など、まずは会話の基本を習得します。</p> <p>フランス語の基本文法や語彙(ボキャブラリー)を学びます。</p> <p>フランス語特有の発音・アクセントを習得します。</p> <p>いろいろな場面を想定して、街中で道を尋ねられた時の会話や、フランスに旅行した時に必要な会話など、生きたフランス語会話を身につけます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス語での挨拶や簡単な会話ができるようになること。 ・基本的な語彙を、できるだけたくさん覚えること。 ・文法の基本を理解するとともに、フランス語特有の発音を習得すること。 		
授業の方法	<p>毎回初めの15分程度は、基本的な挨拶や会話を繰り返し訓練します。</p> <p>そのあと、テキストを使って、文法を説明しつつ、会話のロールプレイングを行います。</p> <p>教師と学生、学生と学生がフランス語で質問して答えるトレーニングや、歌で発音を覚える練習や、自分の発音を録音して確認するなど、楽しく、分かりやすくフランス語をマスターできるように指導します。</p> <p>日本語での説明も行いますので、安心して受講してください。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 25% ・授業への参加意欲 25% ・挨拶や基本的な会話の口頭によるテスト 25% ・筆記テスト 25% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>テキストとして「ALTER EGO-1」(Hachette Japon)を使います。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション、フランス語の挨拶
2回	Chapitre1 Les uns, les autres	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
3回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
4回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
5回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
6回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
7回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
8回	Chapitre2 Ici, ailleurs	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
9回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
10回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
11回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
12回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
13回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
14回	Chapitre3 Dis-moi qui tu es	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
15回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
16回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
17回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
18回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
19回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
20回	Chapitre4 Une journe particulire	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
21回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
22回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
23回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
24回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
25回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
26回	Chapitre5 Vie prive, vie publique	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
27回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
28回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
29回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習
30回	↓	挨拶・基本会話のトレーニング、テキストでの文法・リーディング・語彙・発音・会話練習